

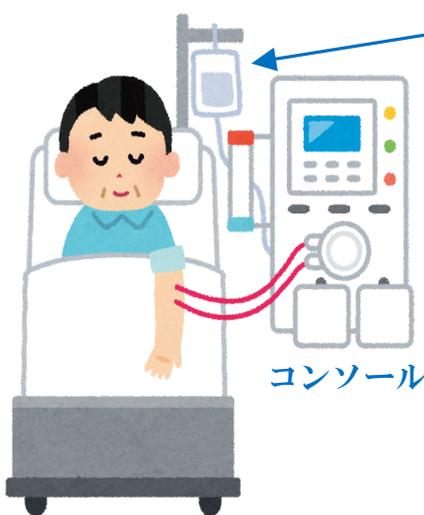
# ひばりだより

NO.7  
2017年10月

最近、透析終了時にランプが青く光ったり、いつも鳴っていた音楽が鳴らなくなったことに気付いた方も多と思います。

いつも透析をしている時に皆さんの横にある透析用監視装置（コンソール）という機械が、6月11日（日）に全台新しい機種に統一されました。それを機に自動返血という機能を取り入れる事にしました。今回はその自動返血についてのお話をしていきます。

## 何が変わったの？



生理食塩水のバック

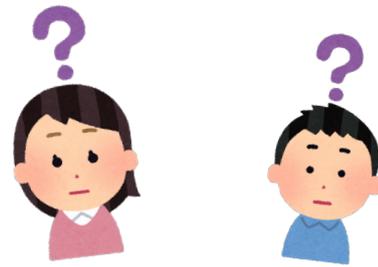
HD（血液透析）を行っている方は、今までは回路内のプライミング（洗浄、充填）や返血のために生理食塩水（以下、生食）のバックを使用していました。

しかし、その生食の代わりに治療にも用いている透析液を使用して、プライミング、返血を行います。そのため生食のバックがなくなりました。

そして、自動返血の機能を用いることで、透析時間が終了し、その日に目標としていた除水量までお水を引くことができると、自動で返血（回路

内の血液を体に返す) モードに移行します。返血操作はおよそ4分間かけて行われ、終了するとアラームが鳴り、スタッフが抜針・止血を行います。

## 気になること



生食から透析液に変わったことによって、体の健康には影響がないのか気になっている方もいると思います。

結論から言うと、影響はありません!

そう言えるのには理由があります。水道水を透析液として体の中に入れるために細菌やエンドトキシンという毒素を取り除く必要があります。それには厳しい基準があり、日本透析医学会によって定められた透析液水質基準というものを満たす必要があります。

細菌と言えばなんとなく人の健康に影響を与えてしまうものだとわかるかもしれません。

一方、エンドトキシンとはあまり聞きなれない言葉だと思います。実はエンドトキシンとは生体にとって非常に有害な毒素なのです。

高濃度のエンドトキシンが体内に入ってしまうとショック、発熱、血圧低下などを引き起こす可能性があります。そのため水質の検査を月1回以上行い、安全性を十分に確かめる必要があります。当院ではそれにより基準を満たしているため治療を行えているのです。



皆さんが安心でき、安全な医療を提供できるように日々努力していきます。  
わからないことがあった場合はいつでも透析センターのスタッフにお声掛け下さい！！

〈 2016 年度版 透析液水質基準 〉

	細菌数[CFU/ml]	エンドトキシン濃度[EU/ml]
透析用水	100 未満	0.05 未満
標準透析液	100 未満	0.05 未満
超純粋透析液	0.1 未満	0.001 未満
オンライン補充用透析液	10 <sup>-6</sup> 未満	0.001 未満

※当院はオンライン補充用透析液を満たしています。

..... 切り取り .....

患者様アンケート

今後、ひばりだよりを発行していく際の参考にさせていただきます。こちらのアンケートは待合室のご意見箱に投函をお願いします。

- 今回の内容はわかりやすいですか？  
わかりやすい ・ ふつう ・ わかりにくい
- 文字は見やすいですか？  
見やすい ・ ふつう ・ 見にくい  
( )
- 次回号はこんな内容を知りたい！などのご意見、ご感想などございましたら、ご記入ください。

[ ]